



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2017年5月②号

議会報告 各行政区の保健センターの体制について

4月から各行政区の保健センターと福祉事務所の体制が大きく変わっています。(保健福祉センターと名称も改変)

5月23日の教育福祉委員会で、玉本市議は各行政区保健センターに最低1人はおられた医師が京都市本庁舎に集約化され、行政区の医師常駐がなくなっていることの問題について質疑しました。

医師不足が影響しています。昨年度3人の医師が退職され、京都市の医師は全体でたった9人になってしまい、募集をしても応募もほとんどないそうです。中には医師が2つ以上の行政区を兼職になっているところもあります。北区の医師は上京区とかけもちです。医師の確保ができれば、兼職は解消されるのか迫りましたが、明確な答弁はありませんでした。地域に密着してこそ、保健行政・公衆衛生の向上に貢献できると思いますが、保健センターが市民にとって身近な存在であるよう引き続き、追及していきま

日本共産市会議員団18人で、東山区に民泊調査

民泊が急増している東山区に、日本共産党京都市会議員団が総力上げて、調査に入りました。届け出なしに違法に運営している「違法民泊」も多くあり、住民の暮らしが脅かされている実態が調査を通じ浮き彫りになりました。私が調査に入ったところは五条坂辺りで、観光客が多い地域で、わかっているだけでも今後6カ所の民泊(簡易宿所)が建設予定とのことでした。オーナーがそこに住み運営されているゲストハウスなどでは、観光客と対面で京都の良さなども味わってもらえますが、ただ、寝床を提供するだけの民泊はあまりにも味気なく、日常的にも緊急事態が起こった時にも、観光客や周辺住民が困ります。観光も大事ですが、そこに住む市民の暮らしを最優先で取り組む課題だと考えます。



左写真：民泊建設予定地前の玉本なるみ市議

許せない暴挙「共謀罪」法案を衆議院で強行採決、舞台は参議院へ

政府与党が、5月23日衆議院本会議で「共謀罪」法案を野党の反対を押し切り、強行採決しました。国民への説明も不十分のままです。法案はプライバシー権や表現の自由への「過度の制限」になります。怖いのは、共謀罪法案は戦争法(安保法制)などと一体に日本を戦争する国に変質させ、物を言えない社会にしていこうとしていることです。法案は参議院の審議に移ります。何としても廃案にしましょう！安倍首相は憲法九条に自衛隊を盛り込み、集団的自衛権の行使を進めようとしています。



5月3日憲法集会後のアピールデモに参加
右からこくた衆議院議員、玉本市議

つぶやき：車椅子フェンシングってご存知ですか？

パラリンピックの競技種目になっている『車いすフェンシング』の強化拠点として、京都市元山王小学校が国から委託を受け、800万円の予算が計上されたのをきっかけに視察に伺いました。一般のフェンシングと違い、車椅子は特殊装置で110度に固定し、上半身の突きで闘うそうです。その装置が100kgあり、移動が困難なため、京都市が常設練習場として、統廃合で空いている南区の元山王小学校の教室を3部屋貸し出しをしています。国内唯一の練習場で、日本全国から選手が練習に来られます。協会の理事長さんから、お話を伺いましたが、ずっと座っているので、お尻に床ずれができるので、健康管理やホテルでの宿泊の際のシャワーの高さなど、生活での援助も必要です。全国で18人程度の競技人口だそうで、もっと障害者の方がスポーツに参加しやすい環境作りを支援していくことが求められていると思いました。



次は還暦で...

アンテナ



過日、高校(大阪)の同窓会があり、参加しました。クラスが10クラスあったので、同じクラスになっただけで話さなかった人とお話したこともないので、同窓会なのに初めましてとご挨拶する方も多くありました。高校の思い出と言えばクラブ活動で、写真4人は参加していた吹奏楽部の仲間です。思い出話もさることながら、大学生の学費の高さや、就職先での働き方の問題など、同じ年なので、抱える悩みはほぼ同じで、話は尽きませんでした。そして、次はたぶん、還暦でお会いしましょう」と最後の挨拶で提案があり、なんだが、ギョッとしました。あらためて、還暦に近づいていることを自覚し、帰ってきました。中には病気で大変らしいとか、亡くなられた方もあり、元気でいることのありがたさも感じました。



